

令和3年度 足立区地域自立支援協議会
第1回精神医療部会(書面開催)議事内容について

1 議事

(1)「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(以下「にも包括」という)の構築」
に向けた地域アセスメントおよび取り組むべき課題について

ア 新規検討組織の立ち上げ

平成30年度より、足立区での「にも包括」の構築に向けて検討してまいりました。今後、さらに区の「にも包括」の構築を推進するには、具体的に区の現状を把握し(地域アセスメント)、取り組むべき課題を抽出していく新たな検討組織が必要となります。

そこで、精神医療部会での協議に諮る前の情報収集・検討の場として、地域の事業所等の協力を得て、新たにワーキンググループを立ち上げたいと考えております。ワーキンググループの立ち上げに関して、ご意見をいただきたいと思います。

なお、設置後は、「にも包括」にかかる意見交換・検討等の場として、精神医療部会と連動していきますので、委員の皆様には部会での協議をお願いいたします。

【イメージ図】

地域自立支援協議会精神医療部会

- 【目的】 精神障がい者の支援に関する連携及び調整
- 【協議事項】 1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する事項
2) 障がい者計画・障がい福祉計画等に関する調査・研究に関する事項
3) その他
- 【構成員】 資料1 参照

検討内容を部会へ提案

新規

(仮称)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にかかるワーキンググループ

- 【実施事項】 1) 地域の支援体制(支援力)の現状確認
2) にも包括の構築に向けた課題の整理 等

【開催回数】 年6回程度

【構成員】 別途調整※

※「にも包括」の根底にある「入院医療中心から地域生活中心へ」を実践している地域移行支援実施事業所および相談支援事業機能を持つ医療機関等を想定

(2) 新規部会委員の選出について

令和3年度からの「足立区第6期障がい福祉計画」では、活動指標として「保健、医療・福祉関係者による協議の場の開催回数・関係者ごとの参加者数」を定めており、当部会の開催回数、関係者ごとの参加者数が該当しております。この中で、厚生労働省の基本指針に基づき、上記計画期間（3年間）において、「精神科以外の医療関係者」及び「介護関係者」（それぞれ1名）に新たな「関係者」として参加いただくことを目標としました。（資料2参照）

参加の可否及びご推薦いただける「関係者」についてご意見があればいただきたいと思いますと考えております。

(3) 今後の精神医療部会の開催方法について

新型コロナウイルス感染症等の感染まん延を想定し、今後の部会について、オンラインでの開催を視野に入れております。

委員の皆様のWeb会議ツールの利用（Web会議への参加）についてご意見をお聞きかせください。

以上